

第15回「議員と語るかい」報告書

(牧園 : No.1)

開催日時	平成27年5月18日 (月) 曜日 午後7時00 ~ 8時30分
開催場所	持松地区公民館
参加人数	16人
出席議員(6人)	松元 深、徳田 修和、前島 広紀、池田 綱雄、岡村 一二三、時任 英寛
役割分担(2班)	班 長 (松元 深) 副班長 (徳田 修和) 記録係 (時任 英寛)

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

<意見交換会での主な意見等>

- ◆1 持松小学校の体育館が地域の避難所として指定されているが、トイレが体育館の外にあるため不便をしている。まちづくり計画書に記載しているが、進展がない。また、地域ケーブルテレビ (NHK設置、年間維持管理費1世帯1,000円) を体育館へ設置できないか。(小学校各教室へは接続済)
◇避難所としての整備であり、担当課へ働きかける。テレビ設置については、学校内にケーブルは配線されている。技術的には問題ないと思う。体育館の内部のトイレ設置とセットでまちづくり計画へも記載していただきたい。

- ◆2 持松小学校の児童数は14名であり、児童数の増加策を講じる必要がある。持松地区へ移住希望の世帯が複数あるが、市営住宅はなく、適当な空き家もない。住居の確保対策はないのか。
◇【議員回答】今回、地方創生の事業の中で、中山間地への移住に対して家賃補助等の事業を今年度から実施していく。その事業をはじめ、地方創生の各事業の計画・実施の中で検討すべき課題である。

- ◆3 校長・教頭住宅の改修・整備をお願いしたい。まちづくり計画の実効性・成果がみえてこない。
◇【議員回答】今後、議会として検証していく。

- ◆4 過去の語るかいで出された要望に対して改善がみられない。地元の養豚場について、議会もしっかりと課題に取り組んでほしい。市の職員は連休中もしっかりと対応してくれた。議会が過去の視察の後、2年間は役員が替わったことで改善されていたが、現在は以前のような状況に戻っている。事業所の排水対策について厳しく対応いただきたい。
◇【議員回答】指摘の点については検証し、規制の条例化の可能性も含め、持ち帰って検討・協議する。

- ◆5 老人クラブが存続の危機にある。中山間においては、地域コミュニティの運営、地域の活性化策においても重要な役割を担っていると思う。今後の老人クラブのあり方について参加議員全員の意見を聞きたい。
◇【議員回答】必要な組織であるが、規模の小さな地域においては自治会との連動が必要となる。
【議員回答】名称を変えて(長寿・壮年)活発に活動しているが、若い(会員対象者)方々の加入

が少ない。

【議員回答】老人会は解散している。自治会の存続さえも懸念されている。あくまでも任意加入であり、人口減少の中組織運営は困難である。

【議員回答】長寿会の名称である。地域行事の歴史・運営等のアドバイスをいただいたり、子どもたちの見守りなど重要な役割を担っていただいている。各種レクリエーション・スポーツ行事の開催を通じ、新規会員の勧誘を進めている。

【議員回答】自治会加入率が50%程度であり、ほとんどが高齢者の世帯である。したがって、老人会の組織と自治会の組織は同じ構成メンバーになっており、まずは自治会への若年層の加入の促進も大きな課題である。老人会と自治会の合同で料理教室など軽スポーツ行事の開催で交流を深めている。小・中学校の登下校見守り等の積極的な取り組みも行なっていただいている。

【議員回答】時代変化、少子高齢化、地域の現状を踏まえ組織再編、活動内容等の見直しの時期にきているのではと認識している。

◆6 関平鉱泉の建て替えが始まったが、年商10億円の目標と聞いている。どのような取り組みをされるのか。龍馬公園の運営はどうなっているのか。

◇【議員回答】関平鉱泉は、日量45t（うち15t温泉へ供給）である。賞味期限の延長が可能となり、冬場に夏場の需要増対応の在庫製造を今後行なっていく。また、成分分析で化粧品への活用等、新たな付加価値の検討で目標額の年商10億円を目指すとしている。

【議員回答】該当公園は、薩摩龍馬会が指定管理者として運営している。警備員等の配置も指定管理料に含まれ、市が維持管理費として支出している。